

# コンソーシアムシンポジウム報告

安全・安心な国土形成から元気な地方を！

## あたりまえの“みち”のために

平成29年2月3日(金)に「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業  
コンソーシアムシンポジウム 《あたりまえの“みち”のために》が名古屋市で開催されました。

シンポジウム前日の2月2日(木)には修了生によるワークショップが開催され、意見交換や各大学(岐阜大学、長崎大学、愛媛大学、山口大学、長岡技術科学大学)の活動報告等が行われました。

ME新潟養成講座の修了生からは11名がワークショップ及びシンポジウムに参加いたしました。

### 【ME新潟参加者】

#### (1期生)

荒木 克 (大陽開発(株))  
高橋 孝栄(新発田建設(株))  
若月 和哉((一社)北陸地域づくり協会)

#### (2期生)

秋山 智宣((一財)新潟県建設技術センター)  
小林 徹 ((株)レックス)  
嵯峨山 航 (新潟県土木部新潟地域振興局)  
山田 啓太 ((株)キタック)

#### (3期生)

今井 一平 (エヌシーイー(株))  
谷口 恵梨 ((株)巴山組)  
中山 清志 (加茂市)  
庭山 雄太郎 (大日本コンサルタント(株))

#### (協議会)

長岡高専 井林准教授

#### (事務局)

大矢・小林・田村

【ワークショップ】 平成29年2月2日(木) 13:00~16:30 今池ガスビル7階  
(テーマに関わる話し合い)

各大学の修了生約50名が6グループに別れ、ワークショップ形式で話し合いました。

テーマは

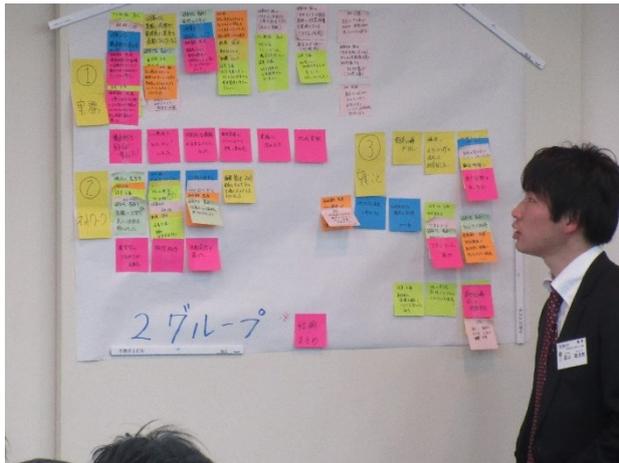
- ①養成講座で学んだことは実務で使えているか。
- ②人的ネットワークで何が変化したか。
- ③講座に望むこと。



各グループ活発な意見交換、熱い議論が展開されました。

話し合いの結果を取りまとめ、各グループより発表がありました。

〔2グループ〕の代表として庭山 雄太郎氏、〔4グループ〕の代表として嵯峨山 航氏、〔6グループ〕の代表として中山 清志氏が発表を行いました。



2グループ代表：ME新潟 庭山 雄太郎



4グループ代表：ME新潟 嵯峨山 航



6グループ代表：ME新潟 中山 清志

〈各大学の修了生生活動報告〉

各大学の代表者より今年度の活動報告が行われました。ME新潟を代表して小林 徹氏より活動を報告いたしました。



**【参画機関連携会議】** 平成29年2月3日(金) 9:00～11:00 今池ガスビル7階

〈参加機関〉 岐阜大学、長崎大学、愛媛大学、山口大学、舞鶴工業高等専門学校、長岡技術科学大学

〈報告事項〉 (1) 中核事業に関連する報告 (各機関より)

- 1) 中核事業について (現状報告など)
- 2) 修了者の動向について
- 3) その他関連しそうな事業等について (例: 国交省民間資格、SIP)

(2) その他

〈議 事〉 (1) 人材育成事業について

- 1) 中核事業を含む人材育成事業の課題
- 2) 補助事業終了後の自立・経営の方策・見込み (各組織の将来構想)
- 3) 学習教育目標について
- 4) その他

(2) 来年度の計画について

(3) 連携協力覚書について

(4) 教科書作成について

(5) その他

【シンポジウム】 平成29年2月3日(金) 13:00～17:30 今池ガスホール

〈事業の趣旨説明〉

「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」

事業の趣旨説明

文部科学省高等教育局専門教育課

教育振興係長 三田 洋介 氏



〈基調講演〉

「京都府北部における土木技術者の再教育」

舞鶴工業高等専門学校

社会基盤メンテナンス教育センター

センター長 玉田 和也 氏



〈話題提供〉

「直轄職員が技術力を継続しなければならない理由」

国土交通省中部地方整備局

道路部交通対策課 課長 翠 昭博 氏



〈中核事業連携機関の活動報告〉

岐阜大学工学部附属

インフラマネジメント技術研究センター

副センター長 倉内 文孝



〈修了生を中心とした パネルディスカッション〉

「あたりまえのみちのために 土木技術者の学び直し」

コーディネーター 愛媛大学 教授 森脇 亮 氏

パネリスト 岐阜ME：河合 浩史氏

山口ME：徳原 裕輝氏

ME新潟：嵯峨山 航氏

長崎特定道守：馬渡 真奈美氏

愛媛ME：藤本 憲洋氏

岐阜大学 教授 沢田 和秀氏



ME新潟からは嵯峨山 航氏がパネリストとして参加し、「ME養成講座」や「ME新潟の会」の活動及び技術者として目指す方向等について熱く語りました。(嵯峨山さんお疲れ様でした 事務局)

注1 挨拶～講評等は省略します。

シンポジウムに関する資料に興味がありご覧になりたい方は事務局まで。

